

島根県の児童相談の状況について

1 児童相談の対応状況

青少年家庭課

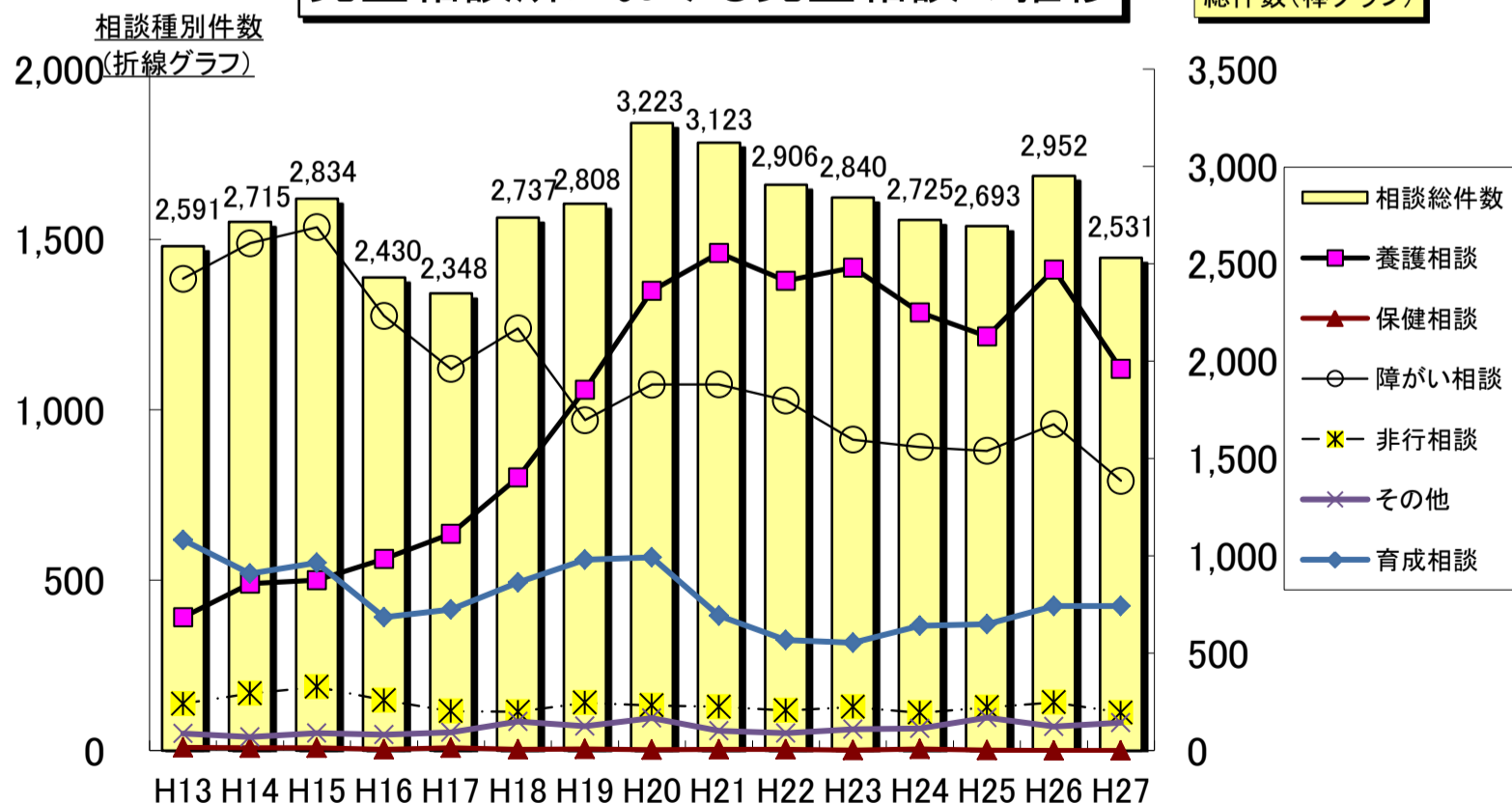
相談種別	平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村	
養護相談	1,216	45.2%	508	60.7%	1,412	47.8%	586	63.5%	1,120	44.3%	526	64.1%
(内虐待相談)	97	3.6%	143	17.1%	178	6.0%	190	20.6%	168	6.6%	186	22.7%
保健相談	2	0.1%	49	5.9%	1	0.0%	12	1.3%	1	0.0%	10	1.2%
障がい相談	880	32.7%	92	11.0%	958	32.5%	95	10.3%	792	31.3%	84	10.2%
非行相談	127	4.7%	13	1.6%	142	4.8%	6	0.7%	112	4.4%	11	1.3%
育成相談	371	13.8%	103	12.3%	368	12.5%	169	18.3%	424	16.8%	121	14.7%
その他	97	3.6%	72	8.6%	71	2.4%	55	6.0%	82	3.2%	69	8.4%
合計	2,693	100%	837	100.0%	2,952	100.0%	923	100.0%	2,531	100.0%	821	100.0%

○平成27年度の対応件数は、児童相談所で2,531件。（*平成27年分より、計上方法を変更）。市町村は821件で102件の減少となった。

○受付内訳は、児童相談所は養護相談が最も多く、次いで障がい相談、市町村でも養護相談が最も多く、次いで育成相談となっている。

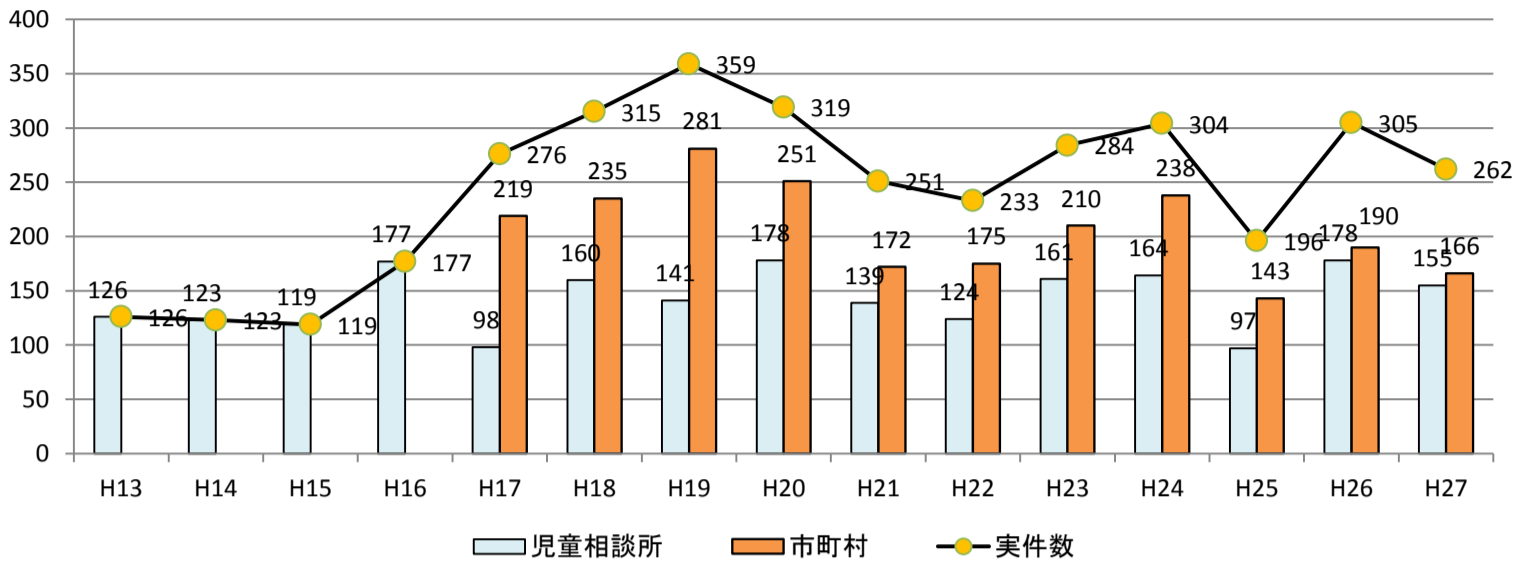
※平成17年4月から全市町村に児童家庭相談窓口が設置されている。

児童相談所における児童相談の推移



2 児童虐待相談の新規認定件数

○児童虐待相談(新規認定件数)の推移



○平成27年度の児童虐待相談の新規認定件数は、児童相談所が155件（前年比約13%の減）、市町村が166件（同約13%の減）となった。

○児童相談所と市町村で連携して関わった重複ケース59件を除くと、県内で新たに児童虐待相談として認定した件数は262件で、前年比約14%の減となった。

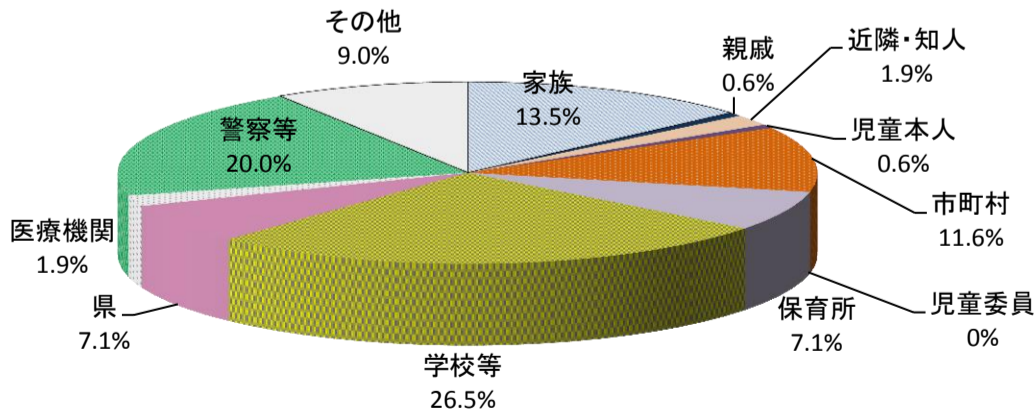
- ・平成25年度：196件《97件（児童相談所分）+143件（市町村分）-44件（重複分）=196件》
- ・平成26年度：305件《178件（児童相談所分）+190件（市町村分）-63件（重複分）=305件》
- ・平成27年度：262件《155件（児童相談所分）+166件（市町村分）-59件（重複分）=262件》

○平成27年度の児童相談所への虐待通告件数は395件（H26は372件）であった。

(1)-1 受付経路(児童相談所)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
H25年度	20	0	0	4	17	1	1	28	6	0	6	13	1	97
	20.6%	0.0%	0.0%	4.1%	17.5%	1.0%	1.0%	28.9%	6.2%	0.0%	6.2%	13.4%	1.0%	100.0%
H26年度	20	13	14	2	41	0	4	28	8	5	4	36	3	178
	11.2%	7.3%	7.9%	1.1%	23.0%	0.0%	2.2%	15.7%	4.5%	2.8%	2.2%	20.2%	1.7%	100.0%
H27年度	21	1	3	1	18	0	11	41	11	0	3	31	14	155
	13.5%	0.6%	1.9%	0.6%	11.6%	0.0%	7.1%	26.5%	7.1%	0.0%	1.9%	20.0%	9.0%	100.0%

○平成27年度 児童相談所における児童虐待相談受付経路



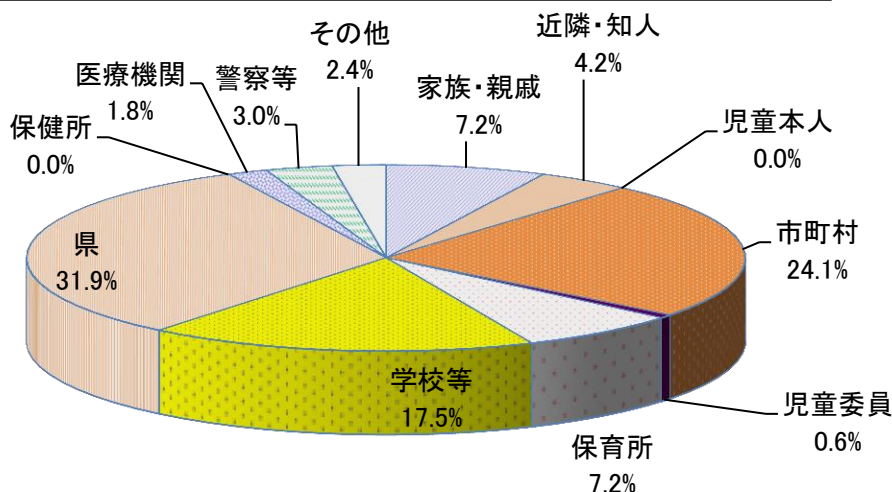
○児童相談所に寄せられた児童虐待相談は、学校、警察からが多く、次いで家族、市町村、県、保育所からとなっている。

○学校からの相談・通告が41件（26.5%）と、前年に比べ増加した。

(1)-2受付経路(市町村)

区分	家族・親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
H25年度	18 12.6%	1 0.7%	0 0.0%	27 18.9%	3 2.1%	18 12.6%	32 22.4%	23 16.1%	0 0.0%	6 4.2%	10 7.0%	5 3.5%	143 100.0%
H26年度	39 20.5%	4 2.1%	0 0.0%	44 23.2%	1 0.5%	12 6.3%	42 22.1%	37 19.5%	0 0.0%	4 2.1%	3 1.6%	4 2.1%	190 100.0%
H27年度	12 7.2%	7 4.2%	0 0.0%	40 24.1%	1 0.6%	12 7.2%	29 17.5%	53 31.9%	0 0.0%	3 1.8%	5 3.0%	4 2.4%	166 100.0%

○平成27年度 市町村における児童虐待相談受付経路

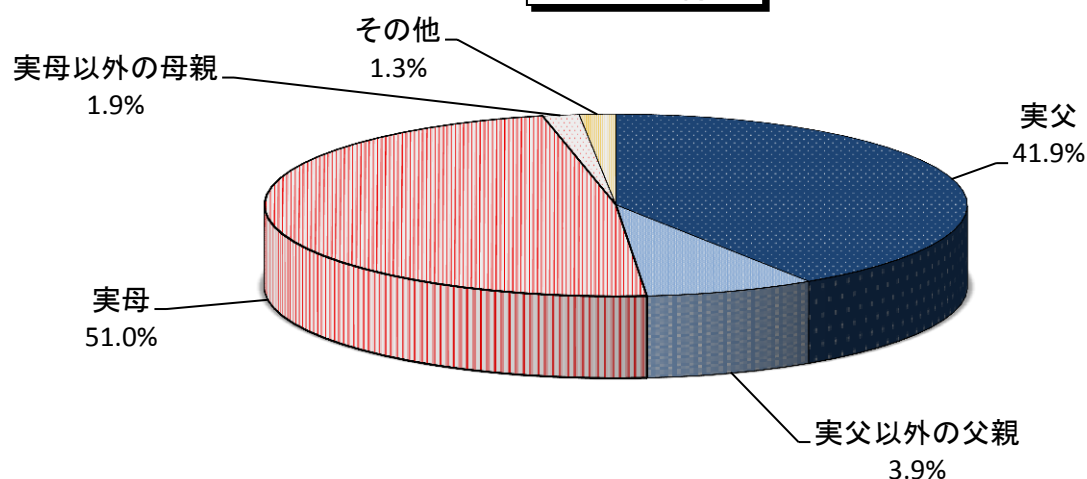


○市町村に寄せられた児童虐待相談は、県、市町村、学校等からが多く、次いで家族・親戚、保育所からとなっている。

(2)主な虐待者(児童相談所)

区分	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母	その他	計
H25年度	12 12.4%	16 16.5%	61 62.9%	1 1.0%	7 7.2%	97 100.0%
H26年度	73 41.0%	14 7.9%	86 48.3%	2 1.1%	3 1.7%	178 100.0%
H27年度	65 41.9%	6 3.9%	79 51.0%	3 1.9%	2 1.3%	155 100.0%

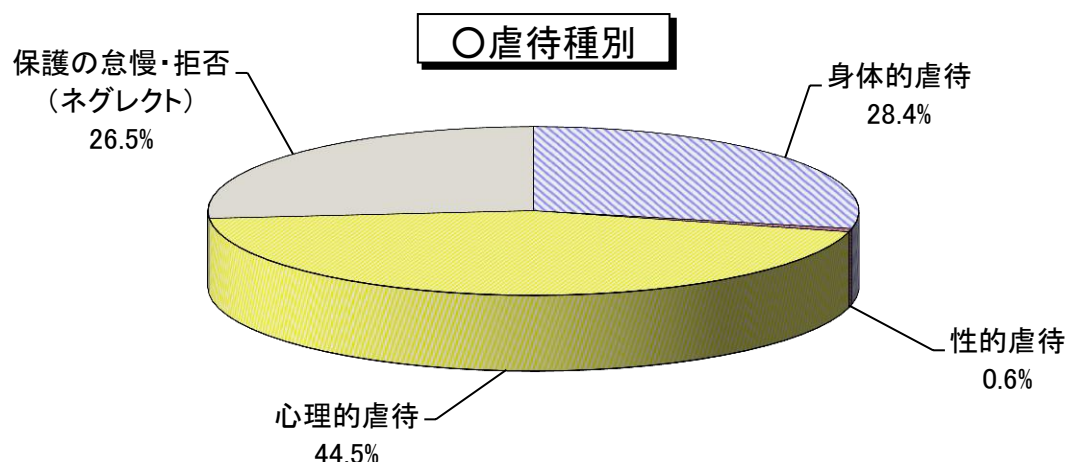
○主な虐待者



○主な虐待者は、実母が79件（51.0%）と最も多く、次いで実父が65件（41.9%）、次いで実父以外の父親が6件（3.9%）となっている。

(3) 虐待種別(児童相談所)

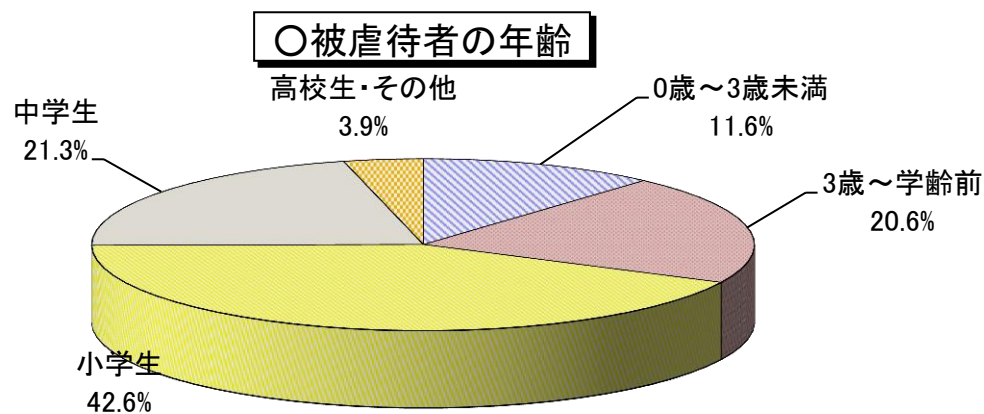
	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
H25年度	23	23.7%	3	3.1%	44	45.4%	27	27.8%	97	100.0%
H26年度	48	27.0%	7	3.9%	84	47.2%	39	21.9%	178	100.0%
H27年度	44	28.4%	1	0.6%	69	44.5%	41	26.5%	155	100.0%



○虐待の種別を見ると、心理的虐待が69件(44.5%)で最も多く、次いで、身体的虐待が44件(28.4%)、保護の怠慢・拒否(ネグレクト)が41件(26.5%)となっている。

(4) 被虐待者の年齢(児童相談所)

区分	0歳～3歳未満		3歳～学齢前		小学生		中学生		高校生・その他		計	
H25年度	13	13.4%	15	15.5%	36	37.1%	26	26.8%	7	7.2%	97	100.0%
H26年度	14	7.9%	53	29.8%	67	37.6%	33	18.5%	11	6.2%	178	100.0%
H27年度	18	11.6%	32	20.6%	66	42.6%	33	21.3%	6	3.9%	155	100.0%



○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が66件(42.6%)、中学生が33件(21.3%)、次いで3歳～学齢前が32件(20.6%)となっている。

《参考》相談の種類及び主な内容

1. 養護相談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難、棄児、迷子、虐待等の環境的問題を有する子ども、養子縁組に関する相談
2. 保健相談	未熟児、虚弱児、内部機能障害、小児喘息、その他の疾患(精神疾患を含む)等を有する子どもに関する相談
3. 障がい相談	肢体不自由、視聴覚障害、言語発達障害、重症心身障害、知的障害、自閉症等に関する相談
4. 非行相談	
< 犯等相談	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等の< 犯行為若しくは飲酒、喫煙等の問題行動のある子ども、警察署から< 犯少年として通告のあった子ども等に関する相談
触法行為等相談	触法行為があったとして警察署から通告のあった子ども、犯罪少年で家庭裁判所から送致のあった子どもに関する相談
5. 育成相談	性格行動、不登校、進学適性・職業適性・学業不振等、育児・しつけに関する相談
6. その他の相談	上記のいずれにも該当しない相談